

水稻育苗箱用殺虫殺菌剤

新登場

ハコナイト[®]

粒剤



水稻病虫害防除は

僕に任せろ！

適用
拡大

高密度は種に
対応

いもち病やウンカ類をはじめとした
水稻病虫害に優れた効果

は種前・
は種時(覆土前)
から使えます



いもち病



トビロウカ



セジロウカ



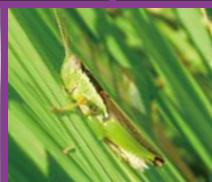
ヒメトビロウカ



コブノメイガ



イネドロオウムシ



コバネイナゴ

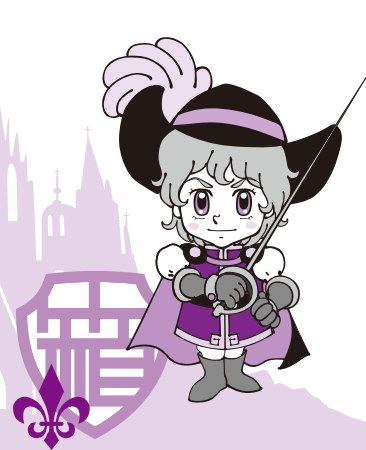


12kg袋(大型規格)



1kg袋

ハコナイト® 粒剤



- ① いもち病に優れた効果
- ② ウンカ類をはじめとした水稻主要害虫に高い効果
- ③ は種前・は種時(覆土前)～移植当日まで使用可能

■ 適用病害虫および使用方法

有効成分 クロチアニジン…1.5%、フィプロニル…1.0%、
イソチアニル…2.0%

殺虫剤分類 4A, 2B
殺菌剤分類 P3

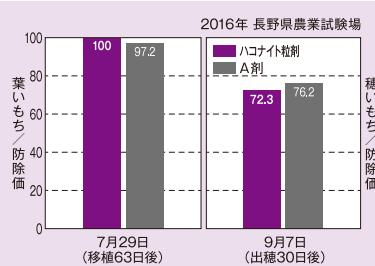
作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロチアニジンを含む農薬の総使用回数
稲（箱育苗）	いもち病 白葉枯病 もみ枯細菌病 穂枯れ（ごま葉枯病菌） 内穎褐変病 イネミズゾウムシ ツマグロヨコバイ ウンカ類 コブノメイガ イナゴ類 イネドロオウムシ フタオビコヤガ ニカメイチュウ イネツトムシ	育苗箱 （30×60×3cm、使用土壌約5ℓ） 1箱当り50g	は種前	1回	育苗箱の床土 または 覆土に均一に 混和する	4回以内 （ 移植時までの処理は1回以内、 本田での散布、空中散布、 無人航空機散布は合計3回以内 ）
		高密度には種する場合は 1kg/10a 【育苗箱（30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ） 1箱当り50～100g】				フィプロニルを含む 農薬の総使用回数
		育苗箱 （30×60×3cm、使用土壌約5ℓ） 1箱当り50g	は種時（覆土前） ～移植当日		育苗箱の上から 均一に散布する	1回
		高密度には種する場合は 1kg/10a 【育苗箱（30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ） 1箱当り50～100g】				イソチアニルを含む 農薬の総使用回数
						3回以内 （ 移植時までの処理は1回以内 本田では2回以内 ）

2021年11月現在の登録内容(太字は2021年10月27日適用拡大)

試験成績

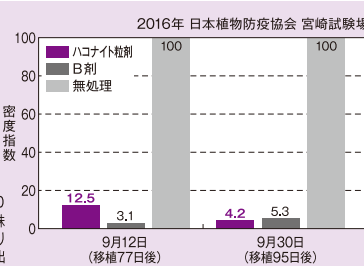
■ いもち病(葉・穂)

品 種: コシヒカリ
は 種 日: 5月10日 移植日: 5月27日
処理日: 5月10日(は種時覆土前) 処理量: 50g/箱
発生状況: 葉いもち/少発生(接種)
穂いもち/少～中発生
調査日: 葉いもち/7月29日(移植63日後)
穂いもち/9月7日(出穂30日後)
調査方法: 葉いもち/上位3葉を対象に、各区100株×3
反復(計300株)の株当たり病斑数を調査し、
平均値から防除値を算出
穂いもち/各区30株×3反復(計90株)の全穂
について、発病部位別(節、首、1/3以上の枝梗、
1/3未満の枝梗)の発病率から被害度を、
その被害度から防除値を算出



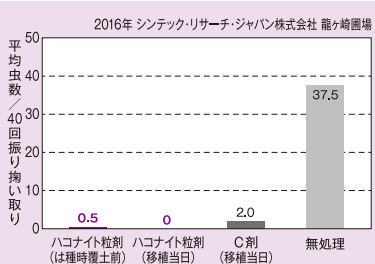
■ トビイロウンカ

品 種: ヒノヒカリ
は 種 日: 6月5日
移植日: 6月27日
処理日: 6月27日(移植当日)
処理量: 50g/箱
発生状況: 少発生
調査日: 9月12日(移植77日後)、
9月30日(移植95日後)
調査方法: 9月12日は各区内の3か所の40株(計120
株)、9月30日は各区内の3か所の20株
(計60株)について粘着板払い落としにより
虫数(成虫+幼虫)を調査し、密度指数を算出



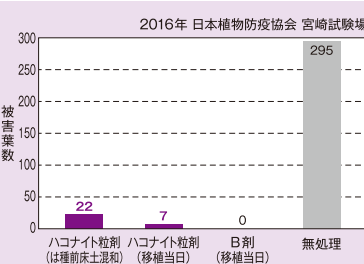
■ イナゴ類(コバネイナゴ)

品 種: コシヒカリ
は 種 日: 4月17日
移植日: 5月12日
処理日: 4月17日(は種時覆土前)
5月12日(移植当日)
処理量: 50g/箱
発生状況: 少発生
調査日: 7月7日(移植56日後)
調査方法: 各区補虫網による40回振り取り
を2反復行い、捕獲幼虫数を若齢、中齢、
老齢別に調査



■ コブノメイガ

品 種: ヒノヒカリ
は 種 日: 6月5日
移植日: 6月27日
処理日: 6月5日(は種前床土混和)
6月27日(移植当日)
処理量: 50g/箱
発生状況: 少発生
調査日: 9月6日(移植71日後)
調査方法: 各区内の3か所の100株(計300株)に
ついて、株内各葉の上位1葉の被害葉数
を調査



注意事項

〈効果・薬害等の注意〉

- 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
- 本剤を床土または覆土に混和する場合、処理後速やかに使用してください。また、本剤を処理した床土または覆土を放置しないでください。
- 育苗箱の上から均一に散布し、葉に付着した薬剤を払い落とし、軽く散水して田植機にかけて移植してください。
- 育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5ℓ)1箱当りに乾初として200から300g程度を高密度には種する場合は、10a当たりの育苗箱数に応じて、本剤の使用量が1kg/10aまでとなるよう、育苗箱1箱当りの薬量を50から100gまでの範囲で調整してください。
- 軟弱徒長苗、むれ苗、移植適期を過ぎた苗等には薬害を生じるおそれがあるので注意してください。
- 本田の整地が不均整な場合は薬害を生じやすいので、代かきをはいていに行い、移植後田面が露出しないように注意してください。
- いくる栽培予定水田では使用しないでください。また、本剤を処理した稲苗を移植した水田ではいくるを栽培しないでください。
- さく等の他作物に影響を及ぼす場合があるので、薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように散布してください。また、土壌全面に不透水性無孔シートを敷くなど、薬剤処理後の灌水による土壌への浸透をさけてください。

〈安全使用上の注意〉

- 使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- フィプロニルによる中毒に対しては、動物実験でフェノバルビタール製剤の投与が有効であると報告されています。
- 眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当てを受けてください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、本剤を使用した苗は養魚田に移植しないでください。
- 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意してください。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。

●使用時にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●空袋・空容器は圃場等に放置せず適切に処理してください。

03R11K21H23:ZS

2021年11月作成(全新企画社)

大地のめぐみ、まっすぐ人へ
SCC GROUP

住友化学



動画
チャンネルは
こちら！

〒103-6020 東京都中央区日本橋2丁目7番1号
お客様相談室 0570-058-669
農業支援サポート <https://www.i-nouryoku.com>
住友化学アグロ事業部

